



鈴鹿市立旭が丘小学校

# 学校だより

【教育目標】

すべての子どもに  
居場所とやる気を

令和2年 7月27日 No. 8

## あゆみの観点が変わります！

今年度から鈴鹿市のすべての  
小学校で、学期末に手渡さ

れる通知表（本校ではあゆみ）の様式が統一されました。

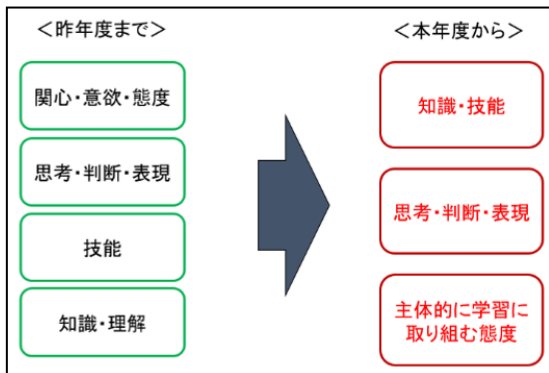
これは、今年度から小学校で全面実施となった「学習指導  
要領」において、すべての教科の目標が、



- ① 基礎的な知識及び技能を習得する
- ② これらを活用して課題を解決するために必要な  
思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむ
- ③ 主体的に学習に取り組む態度を養う

【学習指導要領】  
国が定めた教育課程の基準

といった3観点となったことにともない、  
子どもたちに身についた力の評価もそれ  
に照らし合わせて行うことになったため  
です。昨年度までのあゆみと比較すると右  
の図のようになります。



では、「知識・技能」、「思考力・判断力・

表現力等」とはどのようなものをいうのでしょうか。全国学力・学習状況調  
査（以下、全国学調）で「国語」「算数」が「A問題」「B問題」に分かれてい  
た頃、次のように解説されています。（昨年度から、問題はA B一括されること  
になりました。）

・〔主として「知識」〕…国語A、算数A … 「知識・技能」

身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実  
生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい  
知識・技能など

・〔主として「活用」〕…国語B、算数B … 「思考力・判断力・表現力等」

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のた  
めの構想を立て、実践し、評価・改善する力など

また「主体的に学習に取り組む態度」とは、例えば国語や算数では、全国学調「児童質問紙」で、以下のように取り上げています。

#### <国語>

- ・ 学習したことを、普段の生活の中で話したり、聞いたり、読んだりするときに活用しようとしている。
- ・ 目的に応じて、自分の考えを話したり、聞いたりしている。
- ・ 話したり、聞いたりするときに、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てをしている。

#### <算数>

- ・ 新しい問題に出会ったときに、それを解いてみたいと思う。
- ・ 解き方がわからなとき、あきらめずにいろいろな方法を考える。
- ・ もっと簡単に解く方法はないか考える。
- ・ 解き方や考え方がわかるようにノートに書いている。
- ・ 公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。
- ・ 普段の生活の中で活用できないか考える。

この3観点の学習の評価は、ペーパーテストだけでなくノートや作品、授業での活動の様子等を総合的に判断し、評価していきます。

また「生活のようす」につきましては、指導要録（指導の課程及び結果の要約を記録し、その後の指導や外部に対する証明等に役立てるための原簿）に記載する「行動の記録」の項目に合わせて、10項目になっています。

- |             |            |           |
|-------------|------------|-----------|
| ○ 基本的な生活習慣  | ○ 健康・体力の向上 | ○ 自主・自立   |
| ○ 責任感       | ○ 創意工夫     | ○ 思いやり・協力 |
| ○ 生命尊重・自然愛護 | ○ 勤労・奉仕    | ○ 公平・公正   |
| ○ 公共心・公德心   |            |           |

お渡しする「あゆみ」は、こういった観点や項目を基にして、学年に応じた表現で表されています。

「学習のようす」は「◎（よくできる）」「○（できる）」「△（もう少し）」の3段階（1年生は2段階）で、「生活の様子」は「○（できる）」「△（もう少し）」の2段階で評価しています。

「あゆみ」は、学校と家庭との連携のためにあり、子どものよさや可能性を伸ばすことをめざしています。学校における日常の学習や生活の様子について、子どもたち一人一人が各学期末の終了時点で、どの程度到達できているかを評価したものです。子どもたちが次のめあてに向かって、さらに意欲を高めることができるよう、お声がけしていただきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願ひします。